

# 軽舞小学校で閉校記念植樹会

「大きく育ってね！ 私たちが植えたエゾヤマザクラ」

軽舞小学校閉校記念協賛会（西村政治会長）、胆振林業土木協会（菊谷達夫会長）主催による閉校記念植樹会が5月21日、来年3月に閉校を迎える軽舞小学校で行われました。

この苗木は、同協会が行う緑化事業の一環である植樹運動に軽舞小が応募し提供された高さ約3mにも及ぶエゾヤマザクラの苗木23本。開会式で兵頭利彦教育長は「前日に雨が降り絶好の植樹日和。学校の歴史は110年で歩みを止めるが、植樹したサクラは大地に根をはり大きく育ち、地域の人を温かく見守ってくれる」とあいさつ。

児童たちは、同協会に所属する事務所の職員から植樹の手ほどきを受け作業を開始。目黒ひよりさん（6年）は、「この苗木に『ありがとう』の気持ちを込めて植えます」と話し笑顔で植樹していました。



心を込めて植樹する軽舞小学校の児童たち

# 5月のまちの話題

## 献穀田の指定10年ぶり 「御田植祭」で豊穡の秋を祈る

とまこまい広域農業協同組合（浅野勝善組合長）とJAとまこまい広域米生産振興会（安田憲司会長）など町内各団体約50人が石井勉さん（富里）の水田で5月28日、宮中行事の新嘗祭に奉納する米の栽培に向け、「御田植祭」を行いました。今回献穀田の指定を受けるのは10年ぶり5回目。水田の横に祭壇が設けられ玉ぐしをささげるなどの神事に続き、早乙女姿のみこさんなど関係者がゆめびりかの苗を粛々と手植えました。



献穀田に丁寧に苗を植える早乙女姿のみこさん



**「秋の収穫が楽しみ!!」  
山川農園が開園**

昨年同様、民営の「山川農園」（山川真一さん・上厚真）が5月9日開園しました。1区画60㎡で、22家族・全27区画でスタート。厚真の新鮮な空気のもと、豊かな土壌での野菜づくりを求め、千歳や苫小牧などから多くの参加者が訪れました。昨年に引き続き参加の岩橋さんは「今年も楽しみにしていました。春が待ち遠しかったです」と話していました。



**運動会シーズン到来  
厚中・厚南中をかわきりに**

厚真中学校（濱口明雄校長）と厚南中学校（及川信道校長）両校の運動会が5月29日、晴れ渡る青空の下で開催されました。厚真中学校の開会式では、濱口校長が「今年のスローガン『協働（きょうどう）残心（ざんしん）』のもと、日々の練習に取り組んできた。一人一人が主役になるよう全力でがんばろう」とあいさつ。グラウンド内に、生徒や保護者の力強い歓声と惜しみない拍手が響き渡っていました。

## 厚幌ダム建設促進のため 平成23年度予算の確保を要望

厚幌ダム建設促進期成会（町長、議長、JA代表理事組合長、農業委員長、土地改良区理事長、商工会長）の構成員6人が5月24日、北海道庁と胆振総合振興局を訪れ北海道知事に、平成28年完成に向けた厚幌ダム建設促進のための平成23年度予算確保を要望しました。

同期会会長の宮坂町長は「平成28年完成に向けて国への働きかけを強く進めてほしい」と述べ、要望書を受け取った宮木建設部長は「計画どおりの完成を目指し、道として最善を尽くす」と応えていました。



道建設部長に要望書を渡す宮坂町長



## 水枯れることなく実りの秋を 厚真ダムの水神宮で取水式

厚真ダムの水神宮で5月12日、町土地改良区（山田英雄理事長）主催の、干ばつなどにより農作物に被害が出ないよう祈願する取水式が行われました。

土地改良区や町、町議会、JAとまこまい広域、とまこまい広域森林組合などの関係者約30人が参列。

季節はずれの肌寒さと降りしきる雨の中、簡易テントで雨をしのぎながら、参列者は神宮に玉ぐしをささげ、落水まで干ばつ被害がないよう願いを込めました。秋には、同神宮で水の恵みに感謝する落水式が行われます。



町教育委員会では昨年に引き続き、世界的に有名な絵画の複製画を展示する「ルーブル絵画展」を5月12日から31日まで、青少年センターで開催しました。

この複製画は、フランスのルーブル美術館に所蔵されている絵画の特別撮影許可を得て、キャンパスの表面を精巧に加工したもの。美術の教科書でお馴染みのマネの「笛吹きの少年」やミレーの「落穂拾い」など名画が20点。

来場者は「眺めるだけで心が落ち着きますね」と話していました。

ルーブルの文化にふれる

石橋さん家の田んぼで田植え体験

厚真中央小学校（石井告美校長）の5年生21人が5月31日、宇隆地区の石橋公昭さんの田んぼで、田植え体験の授業を行いました。

この授業は、同小の5年生が総合的な学習として米づくりを行い、昔の農具ゴロを使用し目印をつけながら手植えをする本格的な田植え。荒谷紅葉さんは「田んぼに足を入れるとぐにゆくにゆとした土の感触でした。みんなでゴロを引っ張るのが楽しかったです」と笑顔で話していました。



あつま  
**厚真る幸せ♥**  
 グルメと婚活 よくばりツアー!!  
**とき** 7月10日 土 ~ 7月11日 日

厚真町町制施行  
 50周年記念イベント!

- 定員：男性・女性 各30名
- 参加費：男性5,000円 女性3,000円
- 応募締切：6月25日（定員になり次第締め切ります）
- 参加条件：40歳位までの男女
- ※その他、詳細につきましては電話にて直接お問い合わせください。

**申し込み**  
**問い合わせ先** 厚真町婚活イベント実行委員会（厚真町商工会内）  
 ☎ 0145-27-2456（担当 森本さん）

後援 厚真町・とまこまい広域農業協同組合厚真支所・（社福）北海道厚真福祉会・厚真町商工会

**学校跡地利用についての  
 ご意見・ご提案ありがとうございました**

広報あつま3月号でお知らせしておりました、来年3月末日をもって閉校します富野小学校・軽舞小学校跡地利用の意見・提案募集をしました。  
 利用方法・活用方法について、団体個人の方などから貴重なお声をお寄せいただきましたのでご紹介します。なお町では、これらの意見を参考にし活用方法を検討します。

◆提案内容



富野小学校

- ①スポーツを主とした合宿施設または水耕栽培工場
- ②地場産業の活性化と定住促進のための特産品加工販売施設、体験学習塾、宿泊所（同様の提案2件）
- ③地域の学校施設を保持する目的で体育館は地域のスポーツセンター、教室は学生等の合宿所



軽舞小学校

- ①農業体験・実習生用の宿舍
- ②企業誘致を兼ねた公設民営型特別養護老人ホーム等の福祉施設
- ③地域文化財・美術・陶芸品等の展示を行う総合学習センター
- ④現地法人を設立し高齢者向けの各種福祉事業を行う経営拠点



田植え機に同乗するオーナーと子どもたち

**田んぼのオーナー お天道様を味方に**

今年で4回目を迎える町観光協会(寺坂文秀会長)主催による体験型観光事業「田んぼオーナー制度」の田植えが5月30日、すがすがしい五月晴れのもと幌内地区・小納谷守さんの田んぼで行われ、札幌、苫小牧からオーナーやその家族27人が集まり、手植えや機械植えを体験しました。  
 開会式で小納谷さんは「皆さんに植えてもらうのは『おぼろづき』という品種です。今日は泥んこになりながら田植えを楽しんでください」とあいさつ。オーナーの皆さんは小納谷さんの指導を受けながら、素足になって田んぼに入ったり、田植え機に乗り田植えを楽しんでいました。

**町制50周年記念植樹祭 先陣をきる**

町が主催する「町制施行50周年記念町民植樹祭」が5月24日、宇隆地区の環境保全林で行われミズナラの苗木400本を植樹しました。開会式で古川副町長が「木には、地球温暖化防止や海を守る役割が期待されている。この植樹祭が将来の厚真の森づくり、子どもたちの未来に貢献できれば」と参加した方々に前にあいさつ。この日は先陣をきって鶴川漁協厚真支部青年部・婦人部約20人が協力し、0.2%の面積に等間隔で目印のついたところに同青年部・女性部の皆さんは手ぎわよく植樹していました。また、この町民植樹祭は6月5日にも行われました。



ミズナラの植樹作業を進める参加者



イベントに参加したあたらしいなみPTの4人

**北海道の中心で厚真をPR!!**

役場若手職員4人による臨海施設ゾーン活性化PTが5月23日、札幌大通公園2丁目で行われた「アースデイ・イベント」に参加しました。  
 このイベントは、地球環境保護を呼びかけるもので、今年で40年が経過した現在でも世界184の国や地域で実施されている世界最大の地球フェスティバル。厚真の四季折々の写真や、アツマタウンガイドなどをポスターサイズに拡大しパネルに貼り付け展示して、来場者の目を楽しませていました。4人は「イベントを楽しみながらPRできた。多くの人に厚真を知ってもらおうきっかけになればいいですね」と話していました。

**沿道をきれいに。「浜の彩り」今年も期待**

浜厚真景観整備振興会(館山睿会長)が5月21日、野原公園に面する国道235号線の沿道に昨年植栽された花々の生育を促すため、雑草の除去作業が行われました。道路美化を目的としている室蘭開発建設部の「ボランティア・サポート・プログラム」の支援を受け、会員をはじめYAGENフットボールクラブ、町職員など約20人が参加。  
 参加した皆さんは、あいにくの霧のなか潮風に吹かれながら、伸び始めた雑草を丹念に取り除いていました。今夏も花々で彩られる国道は、地域やドライバーの目を十分に楽しませることでしょう。



雑草を丹念に取り除く参加者